



# 国民春闘共闘

2024年度 第4号  
2023年 11月 20日

国民春闘共闘委員会  
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

23年・第2回年末一時金集計

## 単純平均 2.05 ヲ月 635,640 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 11月 16日、2023年度第2回目の年末一時金集計を行いました。

### <回答状況>

	2023年	2022年同期
回答引き出し組合	612	547
うち 妥結組合	171(27.9%)	168(30.7%)

### <要求と回答内容>

集計方法&対象		2023年回答	2022年同期	同期比
単純平均	月数	2.05	1.99	0.06
	額(円)	635,640	597,029	38,611
加重平均	額(円)	619,735	630,402	-10,667
	組合員数	86,049	88,797	

### <前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	23年回答	22年実績	実績比
単純平均	月数	530	371(70.0%)	152(28.7%)	2.04	2.06	-0.02
	金額	314	203(64.6%)	183(58.3%)	640,288	633,327	6,961

### <非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.895	1.301	1.113	1.041
	前年実績	0.830	1.256	0.623	1.063
	額(円)	92,542	345,196	106,061	304,295
	前年実績	57,449	212,661	96,648	213,075

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

## <集計結果の概要>

### 回答引き出し・妥結状況

11月16日に実施した2023年の年末一時金第2回集計には、別表の22単産・部会から回答報告が寄せられました。回答引出し組合は1910組合のうち612組合・32.0%で、前回調査（第1回集計：11月9日時点）の429組合・26.5%から183組合・5.5%増え、前年同期（2022年11月17日時点）の547組合・32.2%とほぼ同率となっています。

回答引出し組合うち数次の上積み回答を引き出しているのは、JMITUの2組合での4次回答をはじめ59組合・9.6%となっています。前年同期45組合・8.2%を14組合・1.4%上回っています。

春闘・夏季闘争での交渉も含めて171組合・27.9%が妥結・妥結方向となっています。前回調査（131組合・30.5%）から40組合増・2.6%減となり、前年同期（168組合・30.7%）との比較では2.8%下回っています。

### 回答内容

回答月数が判明している555組合での単純平均（一組合あたりの平均）は2.05ヵ月で、前回調査の1.95ヵ月から0.1ヵ月増えています。前年同期比（1.99ヵ月）では0.06ヵ月上回っています。

回答金額が判明している345組合での単純平均額は635,640円で、前回調査600,693円から34,947円・5.8%上昇しました。前年同期比（597,029円）ではプラス38,611円となっています。

加重平均額（組合員一人あたりの平均）は619,735円で、前回調査の588,836円から30,899円・5.2%増となりました。前年同期比（630,402円）からはマイナス10,677円となっています。

出版労連の組合での9.2ヵ月、民放労連での8.7ヵ月をはじめ、出版労連6組合、民放労連2組合、建設関連労連、JMITU、化学一般労連、建交労・製造：各1組合の計12組合が4ヵ月以上、42組合が3ヵ月以上4ヵ月未満の回答を引き出しています（前年同期：月数回答引出し486組合、4ヵ月以上8組合、3ヵ月以上4ヵ月未満35組合）。

また、100万円以上の回答を引き出したのは、出版労連、JMITU：各10組合、化学一般労連、民放労連：各5組合、全印総連、日本医労連：各2組合、全倉連1組合の計35組合となっています（前年同期：金額回答引出し347組合、100万円以上23組合）。

JMITUの組合で前年実績を28万円上回る90万円の初回回答を引き出すもこれを不満として5万円上積みの2次回答を引き出すなど、各組合での上積み獲得が図られたことや今回新たに報告があった民放労連が高い水準での回答を引き出していることが全体を押し上げています。

単純平均で前年実績比較可能な組合を見ると、月数では530組合の単純平均で今期は2.04ヵ月と前年実績2.06ヵ月を0.02ヵ月下回っています。このうち371組合・70%は前年実績以上を確保しています。一方で、JMITU、化学一般労連：各2組合、建設関連労連1組合の計5組合で前年実績を1ヵ月以上下回る回答がされるなど、経営難や原材料高騰、コロナ補助金の見通しがたたないなどを理由とした不誠実な回答も散見されます。

金額では314組合の単純平均で640,288円と前年実績633,327円を6,961円上回りました。JMITU7組合、生協労連4組合では前年実績25万円超を勝ち取っています。

産業別に見ると、民放労連（単純平均 2.87 ヲ月・1,636,425 円）、出版労連（同 2.66 ヲ月・1,065,899 円）などが高水準となっており全体を牽引しています。卸売・小売や医療、社会福祉・介護関係、マスコミ関係の一部では単純平均で 2 ヲ月を下回る厳しい回答状況となっていますが、前年実績比較可能組合での単純平均では、全農協労連、JMITU、建交労・運輸、建交労・鉄道、全倉運、生協労連、全印総連、映演労連、建交労・社会福祉、生協労連・福祉、建交労・サービスでは前年実績以上となっています。

異常な物価高騰から暮らしを守るために、多くの組合が引き続きの大幅上積みを求めて闘争を継続しています。

### パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の 5 単産 107 組合から獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得は、日本医労連 52 件、生協労連 45 件、JMITU 4 件、建交労 1 件の計 102 件となっています。月数報告のあった 86 件での単純平均は 0.895 ヲ月で、前年同期 0.779 ヲ月（89 件）を 0.116 ヲ月、前年実績 0.83 ヲ月（150 件）を 0.065 ヲ月上回っています。また、金額報告のあった 27 件の単純平均は 92,542 円で、前年同期 59,260 円（56 件）を 33,282 円、前年実績 57,449 円（93 件）を 35,093 円上回っています。日本医労連ではパートの一時金 268,000 円や 2.2 ヲ月分などの回答を引き出し、単純平均で 1.113 ヲ月・130,485 円となっています。

月給制非正規雇用の仲間の一時金は 49 件の獲得となり、単純平均 1.301 ヲ月（46 件）、345,196 円（15 件）となっています。生協労連の職場では 2.7 ヲ月の回答を勝ち取っている組合もあります。

継続雇用者では、時給制労働者は生協労連での 8 件で、前回調査同様に単純平均 1.113 ヲ月（6 件）、106,061 円（4 件）となっています。月数回答のあった組合は前年実績比較が可能で 0.108 ヲ月の増となっています。

月給制の継続雇用者は 8 件の獲得報告が寄せられ単純平均 1.041 ヲ月（7 件）、304,295 円（2 件）となっています。